

「令和7年度困りごと調査」結果

(概要) 令和7年度困りごと調査

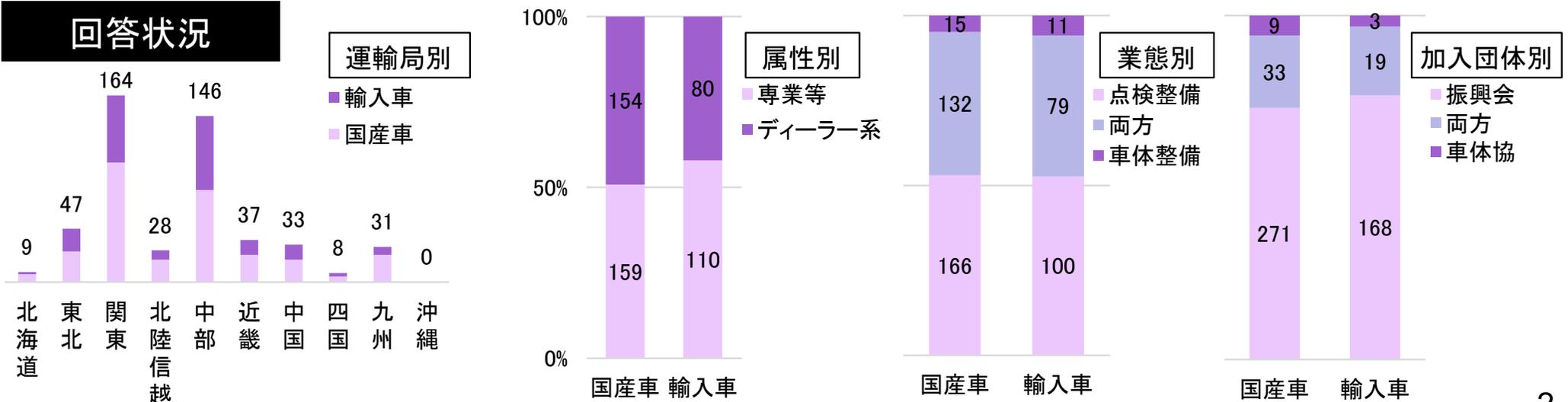
○「整備マニュアル」、「純正スキャンツール※」に関する困りごと調査を実施し、503件の回答を収集

※ 自動車メーカーが専門工場等に「純正スキャンツール」を提供する場合、リコール等の一部機能を制限する。これらの機能を制限されたスキャンツールを「専用スキャンツール」と称するが、本資料では、特に断りのない限り、純正スキャンツールと区別しない

調査の概要

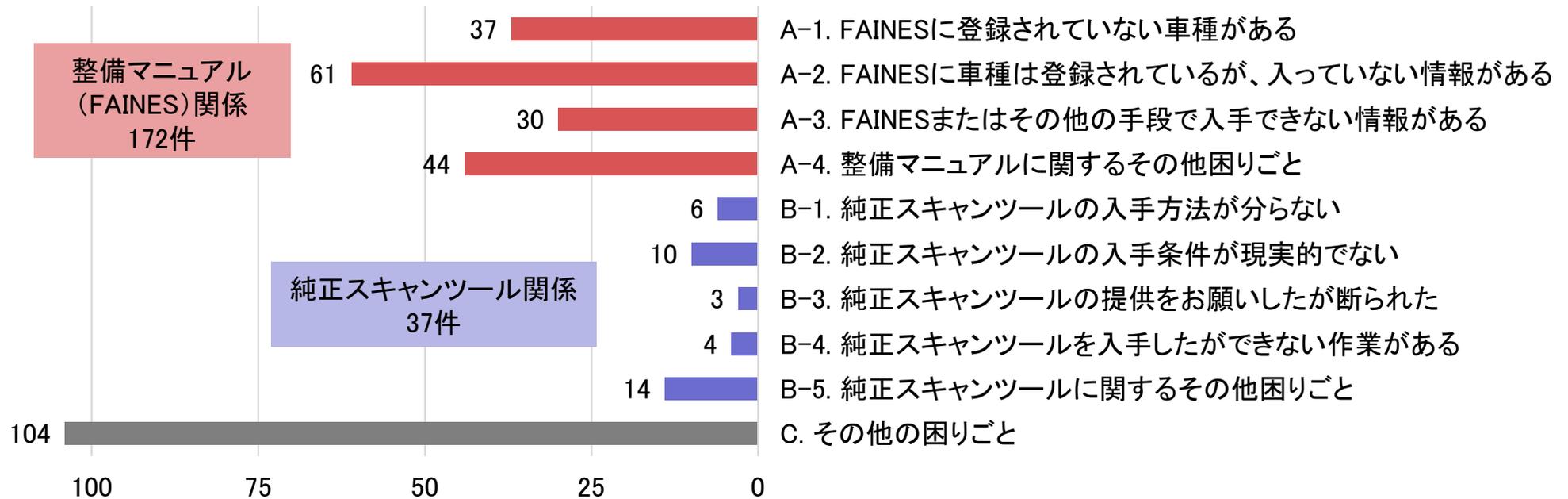
	国産車の困りごと調査	輸入車の困りごと調査
アンケート名称	「国産車の整備マニュアル等入手に関する情報提供フォーム」	「輸入車の整備マニュアル等入手に関する情報提供フォーム」
回答期間	約4.5か月(7/31(木)~12/14(日))	
回答方法	Webアンケート方式	
調査対象	自動車特定整備事業者	
調査内容	<ul style="list-style-type: none"> ・FAINES・整備マニュアルに関する困りごと ・純正(専用)スキャンツールの入手に関する困りごと ・その他の困りごと ・行政に期待すること 	<ul style="list-style-type: none"> ・整備マニュアル等の入手に関する困りごと ・純正(専用)スキャンツールの入手に関する困りごと ・その他の困りごと ・行政に期待すること

回答状況



国産車の困りごとと調査結果

各お困りごとの回答件数



回答内容の傾向

(整備マニュアル関係)

- 古い車種(1990~2000年代)を中心に、一部情報がFAINESに掲載されていないといった困りごとが散見された。
- FAINESの閲覧環境が限定的であることへの指摘や、検索機能の向上や整備マニュアル様式の標準化を求める声も散見された。

(純正スキャンツール関係)

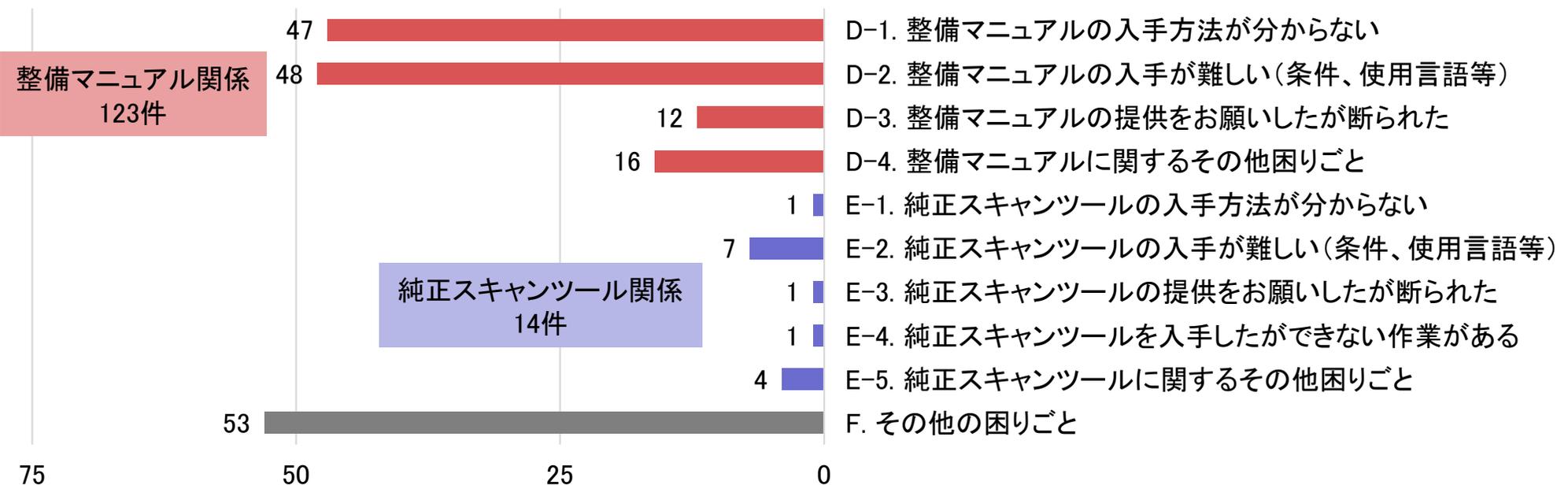
- 特殊な要件を求められるため入手が困難であるといった困りごとや、維持費が高額のため保有が現実的でないといった困りごとが見られた。
- 汎用スキャンツールではできない作業があるといった声も多く見られた。

※ (一社)日本自動車整備振興会連合会
(一社)日本自動車工業会

FAINESやスキャンツールに関する困りごと等は関係団体※に共有するとともに、純正スキャンツールの提供状況を把握する窓口を設置し、適切な指導に繋げる

輸入車の困りごとと調査結果

各お困りごとの回答件数



回答内容の傾向

(整備マニュアル関係)

- 整備マニュアルの入手窓口が分からない、ディーラーに尋ねても分からなかったといった困りごとが多く見られた。
- FAINESへの掲載を希望する声や、必要不可欠な以下の情報だけでも開示してほしいといった声も見られた。
 - 運行上必要なホイールナット(ボルト)の締め付けトルク
 - 受入れ可否を判断するための純正スキャンツールでのリセットが必要な作業 等

(純正スキャンツール関係)

- 維持費が高額である、入手のための審査が通らないとの困りごとが見られた。
- 整備マニュアルが入手できないとスキャンツールは活用できないとの声も見られた。

整備マニュアルの入手窓口等の可視化を進めるとともに、
純正スキャンツールの提供状況を把握する窓口を設置し、適切な指導に繋げる